



第88号
July 2022

編集・発行



社会福祉法人
沖縄県社会福祉事業団

〒903-0804 那霸市首里石嶺町4丁目373番地1
TEL.098-884-3173 (代) FAX.098-882-5688

✉ o.fukusi@okinawa-j.jp
🌐 http://www.okinawa-j.jp/

自慢のベストショット



沖縄療育園

足湯でリラックス♪



漲水学園

コロナ君に負けない!



あけぼの学園

スマイルトンネル



北嶺学園

色とりどりの作品で園内華やかに



都屋の里

梅雨でも紫陽花作りでニッコニコ



よみたん救護園

毎年干支にちなんだちぎり絵作品



具志川厚生園

うるま市ヌーリ川桜並木巡り、



八重山厚生園

お花が大好き♪
フラワーアレンジメントの時間は
真剣な眼差しです。



にしのもり保育園

コロナ禍でも地域の行事や人との関わり

令和4年度沖縄県社会福祉事業団事業計画

1 利用者に対する姿勢

①虐待の定義、福祉サービス事業者としての使命、虐待の発生しない環境を整えるため、法人が策定した「虐待防止の指針」に基づき、各施設は虐待防止委員会を設置し、虐待防止のためのマニュアルの作成や虐待防止の取組を行う。

②各施設は、利用者の個別支援計画を確実に策定し、定期的に支援内容の評価を行う。事務局は、随時施設に出向き、個別支援計画書の策定や計画に沿つた記録等が適切に行われているか確認し、各施設と意見交換を行い利用者支援の向上を図る。

③派水学園は、第三者評価を受審し、評価の高い事項・評価の低い事項を把握すると共に、改善に向けては事務局と情報報を共有し具体的な改善策を策定し実施する。

①地域における公益的な取組
①派水学園の生活困窮世帯児童の学習支援、卒園児童の社会的自立支援を推進する。
②法人の業務及び財務情報など公表が必要な情報について、積極的に公表し経営の透明性を確保する。
③法人が目指す人材育成のひとつの柱である人事考課については、働き方の指

3 人材に対する姿勢

①法人が目指す人材育成のひとつの柱である人事考課については、働き方の指

2 社会に対する姿勢

①地域における公益的な取組
①派水学園の生活困窮世帯児童の学習支援、卒園児童の社会的自立支援を推進する。
②法人の業務及び財務情報など公表が必要な情報について、積極的に公表し経営の透明性を確保する。
④外部環境の把握・分析として、地域における他事業所の職員待遇・新規事業等の動向、地域潜在的福祉ニーズ等を把握すると共に、関係法令の改正、報酬改定との情報を収集する。

4 マネジメントに対する姿勢

①各施設は、県の監査や実地指導の自己点検表を活用し、人員配置や報酬請求が法令に則っているか定期的に点検を行う。
②前年度において、法人の在宅系事業の報酬返還が発生したことから、各施設と事務局のチェック体制を強化する。
③事務局の経営管理課を強化及びコンサルタントの導入により、増収・支出減を実現する。

①針の評価を全施設で確実に実施し、その後の面談をとおして職員教育に取り組む。
②生産性の向上に繋がる先進的な技術等の導入に積極的に取組、業務の効率化を図る。
③月単位で事業毎の必要人員の確保。
④普通退職した職員の再正規雇用制度を整備する。

⑤新規採用職員の離職防止を目的として「メンター制度」等の導入を検討する。検討に当たっては、主任・副主任の指導職層の育成を関連付けた検討とする。

(単位:千円)

令和4年度 資金収支予算書

勘定科目		法人全体		
大区分		当年度予算額 ①	前年度予算額 ②	増減 ①-②
事業活動	収入	事業活動収入計	4,529,463	4,510,464
	支出	事業活動支出計	4,319,985	4,322,335
		事業活動資金収支差額	209,478	188,129
施設整備等	収入	施設整備等収入	869	1,320
	支出	施設整備等支出	49,419	81,232
		施設整備等資金収支差額	△48,550	△79,912
その他の活動	収入	その他の活動収入	270,939	341,207
	支出	その他の活動支出	260,021	283,363
		その他の活動資金収支差額	10,918	△57,844
予備費		49,500	49,500	0
当期資金収支差額		122,346	116,561	5,785
前期末支払資金残高		1,125,489	1,125,489	0
当期末支払資金残高		1,247,835	1,242,050	5,785



令和3年度事業実績報告の主な内容

1 利用者に対する姿勢

(1)人権の尊重

①各施設は、施設倫理委員会及び倫理に関する自己チェック等により権利擁護に関する状況を確認し、不適切支援等が有った場合は管理職は毅然とした対応で改善に取り組んだ。

②事務局は各施設に寄せられる苦情・要望等を月単位で把握し、その内容と対応を確認し必要に応じ施設と共に問題解決に向け対応した。

(2)サービスの質の向上

①各施設で施設サービス自己評価を実施し課題抽出により改善に努めた。内部監査において改善結果・効果の確認を計画したがコロナウイルス感染症の影響で実施できていない。

②にしのもり保育園は第三者評価を受審した。評価が高かった点は、「食事を楽しく美味しく食べる事ができる工夫をしている」、「子どもが主体的に活動できる環境を整備し、生活と遊びを豊かにする工夫をしている」、「経営課題を明確にして解決に向けて具体的に取組んでいる」と評価された。改善点は、「子どもの権利擁護に関する取組の徹底と子どものプライバシー保護」、「保育についての標準的な実施方法の文書化及び検証、見直し」、「保育の質の向上に向けた評価結果に基づく課題の明確化」が挙がった。

(3)生活環境・利用環境の向上

①北領学園、漲水学園、あけぼの学園、八重山厚生園、にしのもり保育園、都屋の里、いしみね救護園が災害時事業継続

計画を策定した。事務局は法人内での自らの役割、施設間の連携に関する事項等について検討を開始した。

②法人の感染症防止のための指針に基づき、各施設は感染症防止対策委員会において各職種の役割の明確化や感染対策研修等を企画し感染防止に努めた。コロナウイルス集団感染が発生した施設が法人内他施設に有効な防止対策等の情報提供も行つた。

2 社会に対する姿勢

(1)地域における公益的な取組

①漲水学園が、宮古島市の「子どもの居場所運営支援事業」を活用し生活困窮世帯児童を対象に学習支援を実施した。

(2)社会に対する姿勢

(1)トータル的な人材マネジメントの推進

①沖縄療育園は医療機関としてのコロナ対策に時間を要したこともあり、考課面談の未実施有り。具志川厚生園と名護厚生園の介護課はコロナ感染が発生したため一部面談が未実施。他の施設は考課面談を実施した。

(4)人材育成

①業務を通して技術取得の他コロナウイルスの影響を最小限に抑えるためオンラインでの会議・研修を導入した。
②施設管理職の人材育成を目指し法人内で発生している課題を取り上げ、その具体的な解決方法等について理事・事務局长等と施設課長との学習会を設け指導・助言等を行つた。

(4)マネジメントに対する姿勢

(1)マネジメントに対する姿勢

(2)組織統治(ガバナンス)の確立

①八重山厚生園で新卒高校生の確保における積極的に取組んだ結果、次年度当初から介護員として2名の雇入れを決定した。宮古厚生園においては、特別支援学校・ハローワークと連携し次年度当初から介護補助員として1名の雇入れを決定した。

②八重山厚生園で新卒高校生の確保における積極的に取組んだ結果、次年度当初から介護員として2名の雇入れを決定した。宮古厚生園においては、特別支援学校・ハローワークと連携し次年度当初から介護補助員として1名の雇入れを決定した。

(2)組織統治(ガバナンス)の確立

①年間を通してコロナウイルス感染防止等の対策が必要であり、計画した施設で内部監査を実施する事が出来なかつた。法令遵守面で課題が判明した事業のみの監査となつた。

(3)健全な財務規律の確立

①これまでの経営管理課による利用率の把握に加えて総務課で職員雇用状況を把握した事により、適切な介護比率と配置職員数の算出が可能となり、経営に関する管理職の意識変化に繋げた。

(4)健全な財務規律の確立

②予算編成時に増収を目標に掲げたが、実態はコロナウイルスへの集団感染による費用・感染症予防対策費用の発生、コロナの影響による利用率の低下が生じた。コロナウイルス感染症に係るサービス提供維持等の補助金は確実に申請できるよう情報の収集と行政への確認は積極的に行つた。

視化でのチェック表の作成面で課題有り。



①グループホームや在宅サービス事業で個別支援計画策定に係る一連の作業等で法令違反が判明し報酬返還が発生。各施設での法令遵守に対する取組の確認と可

り。
①年間を通してコロナウイルス感染防止等の対策が必要であり、計画した施設で内部監査を実施する事が出来なかつた。法令遵守面で課題が判明した事業のみの監査となつた。

②法人内3施設でコロナウイルス集団感染が発生し、施設種類別での会議開催は出来なかつたが、感染症対策・応援職員の派遣等で担当理事が中心となり課題解決に取り組んだ。

②法人内3施設でコロナウイルス集団感染が発生し、施設種類別での会議開催は出来なかつたが、感染症対策・応援職員の派遣等で担当理事が中心となり課題解決に取り組んだ。

③これまでの経営管理課による利用率の把握に加えて総務課で職員雇用状況を把握した事により、適切な介護比率と配置職員数の算出が可能となり、経営に関する管理職の意識変化に繋げた。

④予算編成時に増収を目標に掲げたが、実態はコロナウイルスへの集団感染による費用・感染症予防対策費用の発生、コロナの影響による利用率の低下が生じた。コロナウイルス感染症に係るサービス提供維持等の補助金は確実に申請できるよう情報の収集と行政への確認は積極的に行つた。



令和3年度 決算報告

資金収支計算書

(自)令和3年4月1日 (至) 令和4年3月31日 (単位:千円)

勘定科目 大区分		決算額
事業活動	事業活動収入計	4,283,364
	事業活動支出計	4,121,202
	事業活動資金収支差額	162,162
施設整備等	施設整備等収入計	3,607
	施設整備等支出計	67,201
	施設整備等資金収支差額	△ 63,594
その他の活動	その他の活動収入計	122,014
	その他の活動支出計	176,180
	その他の活動資金収支差額	△ 54,166
当期資金収支差額		44,402
前期末支払資金残高		1,125,429
当期末支払資金残高		1,169,831

事業活動計算書

(自)令和3年4月1日 (至) 令和4年3月31日 (単位:千円)

勘定科目 大区分		決算額
サービス活動	サービス活動収益計	4,272,222
	サービス活動費用計	4,203,067
	サービス活動増減差額	69,155
サービス活動外	サービス活動外収益計	11,142
	サービス活動外費用計	1,412
	サービス活動外増減差額	9,730
経常増減差額		78,885
特別増減	特別収益計	4,101
	特別費用計	15,238
	特別増減差額	△ 11,137
当期活動増減差額		67,748
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額	2,586,096
	当期末繰越活動増減差額	2,653,844
	基本金取崩額	0
	その他の積立金取崩額	83,006
	その他の積立金積立額	142,000
次期繰越活動増減差額		2,594,850

貸借対照表

(単位:千円)

資産の部		負債の部	
科目	当年度末	科目	当年度末
流動資産	1,407,836	流動負債	369,640
		固定負債	357,964
徴収不能引当金	△ 1,356	負債の部合計	727,604
固定資産		純資産の部	
基本財産	5,810,465	基本金	10,000
		国庫補助金等特別積立金	4,504,907
		その他の積立金	2,036,973
その他の固定資産	2,656,033	次期繰越活動増減差額(うち当期活動増減差額)	2,594,850 (67,747)
		純資産の部合計	9,146,730
資産の部合計	9,874,334	負債及び純資産の部合計	9,874,334

よう頑張ります。社会貢献をしながら、社会貢献できる性質のことを改め、地域に貢献していくことを始めた。子どもたちの主体性を尊重し、事業団で働く1人としてしっかりと地域に根差したデイサービスの質の向上をめざして、地域からの信頼と諸先輩方への尊敬の念を忘れずにサービスの質の向上をめざして参ります。



にしのもり保育園
保育士 上間 このみ
うえま

オンラインにて新任職員研修を受けさせていただきました。社会福祉事業団の設立についてや、その当時の沖縄の社会的背景について実感し、事業団で働く1人としてしっかりと地域に貢献していくことを改めました。事業団の長い歴史や、事業団で働く1人としてしっかりと地域に貢献していくことを改めました。子どもたちの主体性を尊重し、地域に根差したデイサービスの質の向上をめざして、地域からの信頼と諸先輩方への尊敬の念を忘れずにサービスの質の向上をめざして参ります。



具志川厚生園
生活相談員 仲村 幸子
なかむら ゆきこ

4月15日(金)に令和4年度採用職員を象とした「新任職員研修」をオンラインにて開催いたしました。金城理事長による「沖縄県社会福祉事業団の概要」について、法人のあゆみをはじめ、福祉職場に求められる門職等について講話をいたしました。受講生の声を紹介したいと思います。



沖縄療育園
事務員 新垣 裕之
あらかき ひろゆき

今年4月より宮古厚生園の看護師として働かせて頂くことになり、新任職員研修を受講しました。資料を参照しながら社会福祉の変換と社会福祉事業団のあゆみについて分かりやすく説明をして頂きました。一方について考える良い機会となりました。なかでも、事業団の民営化に伴い給与の削減や大規模な職員の退職があつた事等を知りとも衝撃を受けました。今、私がこの様な素晴らしい職場で働くことができる事は、苦しい時を乗り越え利用者の方々や地域の人々の為に頑張って働き続けて来られた先輩方のおかげだと思います。先輩方の努力を無駄にしないよう心のこもった看護を提供していきたいです。



宮古厚生園
看護師 田中 奈津子
たなか なつこ

今年4月より宮古厚生園の看護師として働かせて頂くことになり、新任職員研修を受講しました。資料を参照しながら社会福祉の変換と社会福祉事業団のあゆみについて分かりやすく説明をして頂きました。一方について考える良い機会となりました。なかでも、事業団の民営化に伴い給与の削減や大規模な職員の退職があつた事等を知りとも衝撃を受けました。今、私がこの様な素晴らしい職場で働くことができる事は、苦しい時を乗り越え利用者の方々や地域の人々の為に頑張って働き続けて来られた先輩方のおかげだと思います。先輩方の努力を無駄にしないよう心のこもった看護を提供していきたいです。

新任職員研修を受講して

権利擁護・虐待防止・身体拘束適正化研修

5月27日（金）に障害児・者施設、救護施設、高齢者施設の職員を対象とした「権利擁護・虐待防止・身体拘束適正化研修」をオンラインにて開催しました。NPO法人マイアイヘルプユース事務局長であります鳥海房枝氏を講師として身体拘束適正化に向けた取組事例や利用者の尊厳についてご講話いただきました。受講者の声を紹介します。



**障害者支援施設
北嶺学園**
サービス管理責任者
吉浜 和則



名護厚生園
管理課長
玉城 均



鳥海講師の話を聞く中で、以前に事業団事務局から園長が頂いた資料のAさんの記事を思い出しました。Aさんは重い半身麻痺と体幹機能障害のある方で、車椅子移動時はベルトがあると安心できるとして自身で希望しY字ベルトを装着。自身で望んだケースでしたが、市の監査で「身体拘束にあたる」と指摘された内容です。結果としては、医師の意見書を提出し解決に至ったとの記憶があります。鳥海講師はその人が何が必要なことなのか判断し、拘束にあたらないという説明ができるよう備えておくことの重要性を説いていました。

今年度から障害福祉の分野においても身体拘束等の適正化に係る取り組みが義務化となりました。その様な中で、当園においてはオーバーテーブルを利用することで残存機能を活かせる入所者が居ります。そのため、園としては補助具（日常生活用具）として位置付け、現時点では拘束や行動制限をするための物ではないと判断しました。

その判断が正しいものか外部の視点からどのように判断されるかはこれからのこと。

今回の研修で、ご利用者に不利益となる状況を作らないこと、そのためには正しい知識を獲得することの重要性を再確認しました。講師の鳥海様、研修を企画した事務局の皆様、ありがとうございました。

鳥海講師の話を聞く中で、以前に事業団事務局から園長が頂いた資料のAさんの記事を思い出しました。Aさんは重い半身麻痺と体幹機能障害のある方で、車椅子移動時はベルトがあると安心できるとして自身で希望しY字ベルトを装着。自身で望んだケースでしたが、市の監査で「身体拘束にあたる」と指摘された内容です。結果としては、医師の意見書を提出し解決に至ったとの記憶があります。鳥海講師はその人が何が必要なことなのか判断し、拘束にあたらないという説明ができるよう備えておくことの重要性を説いていました。

今年度から障害福祉の分野においても身体拘束等の適正化に係る取り組みが義務化となりました。その様な中で、当園においてはオーバーテーブルを利用することで残存機能を活かせる入所者が居ります。そのため、園としては補助具（日常生活用具）として位置付け、現時点では拘束や行動制限をするための物ではないと判断しました。

あつてはならない身体拘束・虐待、何の為に、誰の為にを肝に銘じてケアに取り組んでいかなければと思いました。

趣味のスポーツ

よみたん救護園
出納員

山城 章太

職員の語らい

多くのスポーツがある中で、私はゴルフにハマっています！

主に、中・高の同級生や事業団のゴルフコンペ（現在、コロナウイルス感染予防に伴い中止）でゴルフをすることが多いです。数ある



張水学園
児童指導員

日本舞踊（西川流）の魅力
宮国 良江

張水学園
児童指導員

高校2年生の時に母の紹介で「西川壱瑚日舞教室」に入門し、13年が経過しようとしている。日本舞踊は五大流派に分けられ、西川流は最も古い流派の一つであります。西川壱瑚は西川流の元祖で、初代生誕から三百余年の歴史を有していると言われています。

私は去年念願の名取試験に合格し、「西川真瑚」を襲名しました。この名取試験には男踊りと女踊りの課題曲があり、男踊りの方が好きである。男踊りは力強く勇ましく踊事ができ、身体を十二分に動かす事で踊っているという実感があるからである。

逆に女踊りは動きを小さくし、品よく上品に踊らなければならぬ非常に難しい。私の師匠が「女踊りを完璧に踊る事ができれば一人前」と言うくらい難しい踊りである。今後は、稽古を積み重ねて「美」を意識し、女踊りを極めていきたいと思います。



施設長就任あいさつ

都屋の里
施設長

宮城 尚



いしみね救護園
施設長

野田 里子



八重山厚生園
施設長

新城 佳一



梅雨の晴れ間から時折、青々と海が輝き、いつもより近く慶良間諸島が見え、夏の到来を感じる時期になりました。この度、令和4年4月1日付にて、都屋の里の施設長に就任しました宮城と申します。平成5年に具志川厚生園の介護職として入職し、救護施設、療養介護施設、婦人保護施設等で携わらせていただきました。

都屋の里には平成23年4月に配属になります。かれこれ11年従事させていただいています。毎年人事異動の時期になると特定の利用者様から「まだ、いる〜」と歓迎?の言葉を頂きます。配属当初はサービス管理責任者として全職員一丸となり措置制度から新体系移行に向け取り組んだのが、つい最近の事のように思いました。

障害分野では権利擁護、虐待防止、社会背景では生産人口の減少等、様々な課題がありますが、全て利用者様に繋がるとの認識を持ち、真摯に取り組んでまいります。

また、新型コロナウィルス感染拡大防止対策にて制限された施設生活の中においても、「楽しく過ごす」を実現していきます。

職員一人一人が自分の仕事に誇りを持ち、利用者様、ご家族から信頼感謝され、施設。そんな施設を目指し努めてまいりますので、今後ともご支援とご指導のほど宜しくお願い申し上げます。

都屋の里には平成23年4月に配属になります。かれこれ11年従事させていただいています。毎年人事異動の時期になると特定の利用者様から「まだ、いる〜」と歓迎?の言葉を頂きます。配属当初はサービス管理責任者として全職員一丸となり措置制度から新体系移行に向け取り組んだのが、つい最近の事のように思いました。

障害分野では権利擁護、虐待防止、社会背景では生産人口の減少等、様々な課題がありますが、全て利用者様に繋がるとの認識を持ち、真摯に取り組んでまいります。

また、新型コロナウィルス感染拡大防止対策にて制限された施設生活の中においても、「楽しく過ごす」を実現していきます。

職員一人一人が自分の仕事に誇りを持ち、利用者様、ご家族から信頼感謝され、施設。そんな施設を目指し努めてまいりますので、今後ともご支援とご指導のほど宜しくお願い申し上げます。

令和4年4月1日より、いしみね救護園の施設長を拝命致しました。平成10年に当事業団に生活指導員として採用され、障害児・障害者の入所施設、事務局での勤務を経て、この度、救護施設の方で勤務することになりました。

救護施設は、生活保護法に基づいた保護施設で、「健康で文化的な最低限度の生活」を維持するため、様々な背景を背負った利用者の方々が入所されています。日々、利用者の皆さんとの喜怒哀樂に触れながら感じることは、利用者の皆さんのが心穏やかに安心して生活できる時間を少しでも多く持つてもらえるよう、施設としてどのような支援が提供できるのかと

いうことです。

施設での日常生活支援と並行し、利用者の皆さんが障害福祉サービスや医療サービスの利用などを通して、それぞれの居場所で、地域や人との繋がりを築いていきながら社会生活を営むための機能を回復していくよう、職員一丸となつて支援していきたいと考えています。

どうぞ皆様のご指導をよろしくお願ひ致します。

この度、八重山厚生園の園長に就任いたしました。新城と申します。昨年、4月より管理課長として就任し、1年経ちましたが、いまだに慣れない施設現場に戸惑いながら業務を行つてしましました。この度、前上地園長の退職により園長としての重責を担うこととなりました。園長の決裁印を押印するたびに責任の重さを痛感し、不安ではあります。がしつかりと業務に励してまいりたいと思います。

さて、新型コロナウィルス感染がまだ収束の兆しが見えないなか、面会時におきましては、ご家族の皆さまのご理解とご協力によりリモート、ガラス越しの面会対応によりご不便をおかけしているところです。

また、職員におかれましても家庭内感染が広がるなか、感染防止策にも神経を払い、日頃より「三密」を避け、園内に「ウイルス」を持ち込まないよう細心の注意を払います。日々業務に取り組んでいる姿を見ると敬意を表します。早く以前の日常生活に戻れるよう切に願うところです。

コロナ禍の状況下で通常業務も大変であります。が、利用者の尊厳、人格の尊重を重視し、住み慣れた地域で、安全で安心して暮らし、健やかで笑顔溢れる施設づくりに職員一丸となり高齢者福祉サービスの向上に取り組んでまいりたいと思いますので、皆さまのご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申しあげます。

ホテルロイヤルオリオン様より ご寄贈いただきました

ホテル開業47周年の記念として、あんパンやカレーパンなど6種類、470個の手作りパンの寄贈をいただきました。パンは各施設へ配布し、利用者からは、「やわらかいあんパン、おいしかったです」、「クリームパンを食べたけど、手作りでしょ?とてもおいしかった。また食べたい。今度はあんパンがいいな~」等、とても喜んでいました。心より感謝申し上げます。



新任課長あいさつ



沖縄療育園
介護課長

玉城英子
たまき えいこ



名護厚生園
介護課長

山入端千春
やまのは ちはる



具志川厚生園
生活支援課長

福地政幸
ふくち まさゆき

この度、沖縄療育園の介護課長に就任し10年ぶりに戻つてきました。

初めての管理職、不慣れな事が多く不安ですが、園長をはじめ事務長、各課長、職員の皆様にご指導を受けて協力してもらいながら何とか過ごしています。

利用者が安心で安全な生活ができるよう、笑顔があふれ寄り添った支援ができればと思います。職員も安心して働くことができ、協力し合える職場づくりができるよう、努めていきたいと思います。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひします。



救護施設
管理課長

伊集貴子
いじゅ あつこ



具志川厚生園
管理課長

譜久原園子
ふくはら そのこ



八重山厚生園
管理課長

黒島洋一
くろしま よういち

名護厚生園に入職し、特養で約7年の介護職を経て、訪問介護でのサービス提供責任者として8年間従事していました。今年度より「介護課長」として任命され、再び特養とも関わる事になりました。人員不足・コロナ禍の中でのスタートとなり、毎日が慌ただしく過ぎているのが現状ですが「利用者・職員とのコミュニケーションを大事に、ひとりひとりの声を大切に」を心掛けて、一日一日の業務に取り組んでいます。まだまだ微力ではありますが、利用者・職員の笑顔のために、また地域の人々に信頼され愛される施設を目指し、日々努力を惜しまず頑張ります。

蝉が鳴き始め、夏の支度がはじまるこの季節、いかがお過ごしでしょうか。

この度、4月から具志川厚生園の生活支援課の課長を拝命いたしました。これまで作業療法士として多職種と連携を図り、利用者様の生活を支援させて顶いておりました。この度の人事に関しましては大きな驚きと、これまでご指導して頂いた先輩方・同僚の皆様に感謝の思いでいっぱいです。若輩者で前任の眞栄城課長や同僚に頼らざるを得ない現状ですが、一歩一歩成長していくたらと思います。皆に喜ばれる存在になれるよう取り組んでいきます。宜しくお願いします。

令和4年4月1日からいしみね救護園の管理課長に就任いたしました。平成25年4月から今年3月まで当園の生活指導員を務めさせていただきましたが、初めての管理職ということもあり、各職員の業務内容の把握や労務管理など、日々勉強に勤しんでおります。

今後、様々な問題に直面するかと思いますが、園長をはじめとした当園職員の他、諸先輩方のご指導も賜りながら、管理職として成長していけたらと思います。当園のサービス提供方針である「明るく家庭的で笑顔の絶えない施設運営」、「利用者のニーズに応じたサービスの提供」、「利用者の安全と健康に特に注意を払う支援」を胸に、救護施設としての将来ビジョンを持つて、これからも一層業務に邁進してまいります。

令和4年度より具志川厚生園にて管理課長を務めることがとなりました譜久原園子と申します。具志川厚生園での勤務は、新しい環境での初めての業務となります。

課長就任につきましては、不慣れなことが多く、不安や重圧もございますが、皆様のお役に立てるよう誠心誠意努めて参りたいと思つております。

コロナの影響により、面会や各種活動の見直し・縮小等、制限のある中ではございますが、感染拡大防止の取り組みへのご理解とご協力に感謝するとともに、ご利用される皆様お一人お一人に寄り添い、日々心地よく過ごせる施設づくりを意識し、自身の役割を担つていければと思つております。

今後ともどうぞご指導ご鞭撻の程、よろしくお願ひ申上げます。

2022年4月より、八重山厚生園の管理課長を拝命いたしました黒島と申します。写真ではかなりの年を重ねているようにみえますが、昭和37生まれ、本年で還暦を迎えます。60からの挑戦を模索している中で今回、縁があつて本事業団へ採用いただきました。今後とも皆様方のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。早いもので、着任してもう2ヶ月が過ぎました。まだ解からない事だらけですが、事務局及び他の施設の仲間の皆様との連携を大切に、これまでの自分の経験等を活かして、施設の利用者様が快適な時間を過ごせる環境づくりに貢献できればと思います。これからも本事業団の果すべき役割に少しでも寄与できるよう頑張ります。

施設だより



今はコロナ禍でなかなか外に出て楽しく食事ができない時代です。それは施設も同様で利用者様からは「外に出て美味しい物が食べたい」と「外に出て美味しい物を食べたいが食べたい」と多くの意見が挙がりました。その声を聞いた職員から、外に提案を受けました。よく行くキッチンカーの「おやつ時間」から、店に聞いてみますと話がトントン拍子に進み、キッチンカーを毎月1回第1木曜日、おやつ時間になると、茶色が目印のキッチンカーが準備始めます。その後は：アイス、クーラー、抹茶アイス、ストロベリー、オレンジジュース、かき氷、ハンバーグ等利用者の皆さんにはユーチューバー自由に選び笑顔で食べています！人は美味しい物を食べる誰でも笑顔になります。「明日もキッチンカー来ないかな」と喜びの声が聞こえます！カモン！キッチンカー！

みんなでワイワイキッチンカー

あけぼの学園
管理課長

佐久田政幸
まさゆき



あけぼの学園
管理課長

売春防止法からの脱却・女性支援を強化する女性新法

施設行事や取り組み等の報告 (コロナ禍での園生活・行事について)

宮古厚生園
介護生活相談員

池村祐紀
ゆうき



よみたん救護園
生活指導員

金城善史
よしひと



クリスマス＆大忘年会☆

特に母子支援に関しては全国にも例がなく、唯一、沖縄県の当施設のみが実施しており注目を頂いている。ここに至るまでの職員の努力を誇りとともに、これからも自信をもつて利取り組み、全国的にも一歩先んじてい

る。特に母子支援においては、新法に基づいた支援は既に行つており、加えて母子の入所を受け入れ母子支援にも取り組み、管理型からの脱却としての意識改革と位置づけ、法施行までの2年間は準備期間として捉えているようである。

他県において婦人保護施設は、売春防止法が根拠となっていることから、確かに、当施設においては、新法に実施しており注目を頂いています。ここに至るまでの職員の努力を誇りとともに、これからも自信をもつて利取り組み、全国的にも一歩先んじてい



る。特に母子支援に関しては全国にも例がなく、唯一、沖縄県の当施設のみが実施しており注目を頂いている。ここに至るまでの職員の努力を誇りとともに、これからも自信をもつて利取り組み、全国的にも一歩先んじてい

る。特に母子支援に関しては全国にも例がなく、唯一、沖縄県の当施設のみが実施しており注目を頂いています。ここに至るまでの職員の努力を誇りとともに、これからも自信をもつて利取り組み、全国的にも一歩先んじてい

る。特に母子支援に関しては全国にも例がなく、唯一、沖縄県の当施設のみが実施しており注目を頂いている。ここに至るまでの職員の努力を誇りとともに、これからも自信をもつて利取り組み、全国的にも一歩先んじてい



「Tomochika890 (ともちかやっくん)」(<http://music.islove.jp/profile.html>)